

第三者評価結果

①第三者評価機関名

評価機関認証番号 石川県07-014
社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会
(訪問調査日：平成24年12月5日(水))

②事業者情報

名称： 社会福祉法人末広保育園 末広保育園	種別： 保育園
代表者氏名：理事長 高桑三郎	定員(利用人数)： 100人
所在地：〒920-0944 石川県金沢市三口新町3丁目9番10号	

③総評

◇特に評価の高い点

- 平成20年度から継続して保護者アンケートを実施するとともに、第三者評価を受審し、保護者の声を保育サービスの質の向上に反映するよう努めています。
- 保育支援システムを有効に活用し、効率的な情報の共有と管理、保育士の事務負担の軽減と保育内容の充実につなげています。
- 職員の資質向上を図るため保育士、幼稚園教諭、栄養士等の資格取得に係る費用を助成したり、退職した保育士とのつながりを大切にして協力を求めるなど、人材の養成、確保に努めています。
- 地域交流室兼活動室を設け、未就園児・家族との交流事業、一人暮らしの高齢者を招いての食事会、高齢者による絵本の読み聞かせ、図書の貸し出しなどを行ない、地域との交流に積極的に取り組んでいます。
- 利用者調査結果、第三者評価結果、公認会計士及び税理士による外部監査や市の指導監査結果を、役員・職員の他に保護者にも公表しています。役員、職員、保護者が情報を共有し、地域社会全体に開かれた保育園にしようと努めています。
- 理事には園長のほか主任保育士を加えて、現場の意見や実情を理事会に直接報告できる体制になっています。理事長を中心とした理事会が保育園の運営全般に理解を深め、民主的な法人運営が図られています。

◇改善を求められる点

- 人事考課制度を導入し、更なる資質向上を図られることを期待します。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

石川県内でも5年継続して第三者評価を実施している保育園はなく、そういう意味でも、かなり、開かれた保育園として地域に認められつつあるかと思えます。
引き続き、改善を求められる点については、真摯に考慮し、資質をたかめてまいりたい。

<参考：利用者アンケート実施状況>

実施期間	平成24年11月19日（月）～12月13日（木）
送付数	80通
回答数	46通（回答率57.5%）

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		・ ホームページ、事業計画、通園のころえ、園児募集パンフレットには「子どもと保護者と保育士の信頼関係を深め、子どもの心によりそった保育をする」という理念を明文化している。
① 理念が明文化されている。	Ⓐ b・c	・ 理念に基づき「人間への信頼を育てる」「社会への安心を育てる」「自分への自信を育てる」「自分の将来への期待を育てる」という4つの基本方針を明文化している。
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ b・c	
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		・ 職員会議や園内研修で、理念、基本方針の確認を繰り返し行っている。理念や基本方針は、各保育室に設置してあるパソコンで、いつでも確認することが出来る。
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ b・c	・ ホームページ、園だよりを通じて保護者に理念や基本方針を伝えている。地域住民へは、町会回覧板を利用し、園児募集パンフレットを回覧するなどし、理念を周知している。
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ b・c	

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		・ 「保育園の課題と取り組みについて」という中長期計画を策定している。「保育実践の改善・向上」、「子どもの健康及び安全の確保」、「保育士の資質、専門性の向上」、「保育を支える基盤の強化」を柱とし、数値目標や実施時期を明記した具体的なものとなっている。
① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ b・c	・ この中長期計画に基づき、各クラスの重点目標、配置すべき人員、施設整備に向けた取り組みなど、課題毎に事業計画を策定している。
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		<ul style="list-style-type: none"> この中長期計画の進捗状況を、年5回開催する理事会で点検している。その結果を職員会議へ報告し、事業計画の見直しを行っている。役員、職員が一体となって、計画、実行、評価を行う体制が整っている。
① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画は、園長と主任保育士が4月から5月にかけて保護者会で説明する。保育園玄関で掲示し、地元町会でも回覧板などで知らせている。
② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会(年4回)に参加し、計画に対して理解を促すとともに、周知状況を確認している。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		<ul style="list-style-type: none"> 職務分担表において、管理者としての園長の役割と責任が明らかにされている。職員会議において園長がこれを表明している。
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> 所長研修会、新保育指針研修会、防火管理者研修会など関係機関が行う研修、法定講習に出席し知識の習得に励んでいる。その後の職員会議で伝達し、研修内容を職場全体で共有化している。
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		<ul style="list-style-type: none"> 保育士の事務負担を軽減し、子どもと多くの時間関わられるように、また、事務負担を軽減し効率よく情報を共有するために、保育支援システムというデータベースを活用している。
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> パソコンを通して保育日誌、保健日誌、成長記録、給食日誌、週計画、月間指導計画、年間指導計画など子どもに関する関係資料をいつでも全職員が見ることができ、日常業務に活かすことができる。園長は、これらに目を通し定期的、継続的に評価、分析を行っている。
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

調査対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長、主任保育士は、行政や市社協等が主催する研修へ参加し、事業経営を取り巻く環境の把握に努めている。また、地域の子どもの数や世帯構成等の統計データを取り寄せたり、地元町会の会合に出席するなどして、地域の特徴や変化の把握に努めている。 ・ 上記に加え、毎月の在園児数、年齢構成の推移、職員の配置状況などをもとに経営分析を行っている。その結果として入所児童の増加と施設整備計画が策定され、中長期計画にも盛り込まれている。 ・ 保育園経営の透明性を図るため、税理士、公認会計士による外部監査を自主的に実施している。外部監査の結果は、金沢市の指導監査結果と併せて、職員会議、保護者会、理事会で報告している。
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	○ a b・c	
③ 外部監査が実施されている。	○ a b・c	

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、在園児数の変化や職員の退職、休業に対応するため、以前保育園に在職していた人や保護者の知り合いなどを独自に登録して人材確保に努めるなどの工夫をしている。 ・ 無資格者には、保育士、幼稚園教諭、栄養士等の資格取得を支援するなど人材育成に努めている。 ・ 園長、主任保育士は人事考課の重要性をふまえ、人事考課制度について情報を収集している。平成25年度から、人事考課制度を導入する予定である。
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a ○ b c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

II-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		・ 保育支援システムの中に職員の勤務時間、有給休暇、特別休暇の取得状況、健康診断結果を入力し、一元的に管理している。
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○ a · b · c	・ 今年度から、カウンセラー等と連携し、希望があれば個別に相談ができるような体制を整備した。
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	○ a · b · c	・ 職員の健康管理、保育サービスの質の向上などを考慮して、夏季5日間の特別休暇を全職員に付与している。年次有給休暇の計画的取得、就業時間内の1時間休憩の徹底など職場環境改善に積極的に取り組んでいる。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		・ 研修計画の中に、子どもや保護者から信頼される職員を目指すことを方針として明記している。
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	○ a · b · c	・ 利用者増に伴い、職員を増員したため、職務経験年数の浅い職員が増えた。知識、技能を習得させ、保育の質を確保するために、職員の経験年数に応じた研修計画を策定している。
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	○ a · b · c	・ 研修報告は、保育支援システムに入力され、全職員が見ることができる。園長、主任保育士は、業務に反映されているかを確認し、必要な場合は、再度同じ内容の研修を受講させるなど評価、見直しを行っている。
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	○ a · b · c	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		・ 園長は、今後の人材育成と施設の社会化を目指して実習生、職業体験を希望する学生を積極的に受け入れている。受け入れに際し、養成校との事前の打ち合わせ、実指導者研修を受講し、責任体制を明確にしている。
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	○ a · b · c	・ 職員が、実習生受け入れの意義や受け入れ方法などについて同じ認識を持てるよう、基本的考え方や業務内容をまとめた実習生等受け入れマニュアルを今年度整備した。
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	○ a · b · c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

II-3 安全管理

	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理、衛生管理、安全管理、不審者対応、応急処置の5つの対応マニュアルを整備している。それを各保育室に配置し、緊急時に迅速で的確な対応ができるよう備えている。 ・ 日本スポーツ振興センターの損害賠償責任保険に加入している。 ・ 日常業務の中で、事故につながりそうなことが起こった場合は、ヒヤリハット報告書を作成している。この報告を保育支援システムに入力し、全職員が共通認識するしくみができている。
② 利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハット報告された事例は、職員会議で発生原因を分析し、防止策を検討している。また、必要に応じて、その結果を保護者へ開示し、協力を求めている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元町会の会合や清掃活動、バーベキュー大会などの行事に参加し、園児の作成したうちわを渡すなど、地域との絆を大切にしている。 ・ 簡易スキャナーで貸出手続きができる図書管理システムを導入し、園児や地域の未就園児に積極的に絵本を貸し出している。また、地域交流室兼活動室を設け、ベビーマッサージ教室や育児相談などを行っている。 ・ また、金沢市の子育て夢ステーション事業の一環として、妊娠中から3歳未満の子育て家庭の相談に応じる未就園児ふれあい教室を実施している。これらの活動について、ホームページや町会の回覧板を通じて、地域住民に周知している。
②	事業所が有する機能を地域に還元している。	○ a b・c	
③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○ a b・c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①	必要な社会資源を明確にしている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期計画に「地域の多様な人材の活用」を明記しており、地元大学生を講師とした英語教室や、アート体験などの行事を行っている。 ・ また、これらの人材の受け入れに関し、その意義や事前に確認すべきことなどを整理したボランティア受入れマニュアルを整備している。 ・ 児童相談所や警察、総合病院、地区民生委員協議会などの関係機関、団体の連絡先をリスト化し、事務室に掲示している。 ・ 民生委員児童委員と年5回、園児との昼食会後の懇談を通じて連携している。児童相談所、警察、小学校など相談できる体制が整っている。
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	○ a b・c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
①	地域の福祉ニーズを把握している。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園開放や子育て夢ステーション事業を通じて、また、地元町会会合や行事参加など様々な地域での機会を捉えて福祉ニーズの把握に努めている。 ・ 地域の独居高齢者を招いての昼食会を行っている。独居高齢者には絵本の読み手としても協力いただき、子ども達はこれを心待ちにしている。
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	○ a b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		・ 保育課程や業務マニュアルに、子どもと保護者と保育士の信頼関係を深め、子どもの心に寄り添った保育を行うことを明記している。
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	○a・b・c	・ 守秘義務に関する規則を整備し、職員は保育園に対して、利用者のプライバシーを保護することについての誓約書を提出している。
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	○a・b・c	・ 日常、保護者と接する中で職員が保護者からの意見を聴き記録している。その記録を保育支援システムに入力し、全職員が共通認識するしくみを整備している。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		・ 平成20年度より継続して、保護者アンケートと第三者評価を受審し、その結果を保護者に公表し、保育園サービスの改善につなげている。
① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	○a・b・c	・ 子どもの登降園時に保護者と会話する中で、また、連絡帳によるやりとりを通じて保護者との連携を密にし、ニーズの把握に努めている。
② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	○a・b・c	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		・ 園だよりなど保護者への配布物に、相談を随時受け付けている旨の文書を記載している。相談対応は、プライバシーに配慮し、会議室や地域活動兼交流室で行っている。
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	○a・b・c	・ 主任保育士が苦情受付担当者、園長が苦情解決責任者、監事2名を第三者委員として苦情受付の体制を整備している。これらの情報はホームページに公表している。
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	○a・b・c	・ 保護者からの意見や苦情に対しては、本人の同意を得たうえで、個人が特定されないよう配慮し、玄関の掲示板で公表している。
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	○a・b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスの評価分析は職場全体で行われ、改善策を検討している。その結果は、保育支援システムを通じて、全職員が共通認識している。 ・ 改善すべき意見、提案などは職員会議、保護者会などを通じて検討されている。内容によっては、理事会で協議し、対応を決定している。
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	○ a・b・c	
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々のサービスについての標準的な実施方法についての手順書があり、保育支援システムを通じて、全職員がいつでも確認できる。日常業務の中で感じた意見なども入力でき、それらをもとに、毎月の職員会議や園内研修で、定期的に見直しを行っている。
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達状況票、個別指導計画、保育日誌等の記録は、保育支援システムの中で管理し、これらの情報は、外部に持ち出せないようになっている。 ・ 上記の記録の管理責任者は園長であり、保育支援システムの中に情報開示に関する基準を定めている。
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a・b・c	
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、園児募集パンフレットには年間の主な行事内容とその様子が分かる写真が掲載されている。入園後、進級後に必要なものや、保育料以外の費用も併せて年齢毎に資料を配布している。 ・ サービス利用開始時には「入園のころえ」を配布し説明、同意を得ている。入園のころえには、年齢ごとに準備するもの、登降園時の注意事項などが記載してある。 ・ 必要に応じて、発達の記録を転園する保育所に届けている。また、卒園児宛に夏休み木工教室等行事の案内をするなど継続性に配慮している。
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	○ a・b・c	
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	○ a・b・c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	○ a・b・c	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの身体状況、生活状況、特徴などは継続的に保育支援システムに入力し、発達段階や家庭環境を踏まえて、アセスメントを行っている。 ・ サービス実施計画は、蓄積されたデータを基に担当職員が案を作成している。次に、全職員でこれを協議し、主任保育士、園長の承認を得て実施計画を決定している。 ・ 実施計画は、年度途中であっても、子どもの発達状況や家庭環境の変化などをふまえ、随時、職員会議で見直している。 ・ 指導計画を毎月評価している。評価結果に基づき、必要に応じて見直している。変更理由を保護者に説明し、同意を得たうえで、指導計画を変更している。
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	○ a・b・c	
② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	○ a・b・c	
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
① サービス実施計画を適切に策定している。	○ a・b・c	
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1 子どもの発達援助

A-1-(1) 発達援助の基本

	第三者評価結果	コメント
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	Ⓐ b・c	・ 保育計画は、園の基本理念、基本方針を基に、さらに地域の実情や保護者の意見等を考慮して作成している。
② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	Ⓐ b・c	・ 指導計画は、週毎、月毎に評価と反省を行ない、翌月の指導計画に反映させている。 ・ 週毎の評価反省は担任の自己評価のみであるが、月毎の評価反省は、担任の自己評価の後、主任保育士及び園長の承認をとっている。

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ b・c	・ 健康管理マニュアルを整備し、登所時や保育中の子どもの健康管理を行っている。登所時や保育中に気になる事があれば、各クラス担任が保育支援システムを通じて職員間で情報共有している。その情報に基づき、クラス活動、給食内容の変更や保護者への連絡等、その後の保育に反映している。
② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ b・c	・ 内科検診と歯科検診を年2回ずつ実施している。検診結果は、職員が口頭、または連絡帳を通じて保護者に報告している。
③ 歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ b・c	・ 内科検診終了後、嘱託医、園長、主任保育士、クラス担任による話し合いを持ち、発達に関して問題があると思われる場合は、保護者の了解を得たうえで教育プラザ富樫等の専門機関につなげている。
④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	Ⓐ b・c	・ 衛生管理マニュアルの中に感染症防止対策を具体的に定めている。感染症が発生した場合は、個人が特定されないよう配慮したうえで、発生状況と対処方法、予防方法を玄関前の掲示板により保護者あて知らせている。 ・ 緊急連絡メールシステムを導入し、感染症の発生状況等保育の安全に関する情報を速やかに保護者に伝えている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	○ a・b・c	・ 毎月1回以上のバイキング給食を行い、地域の独居高齢者や民生委員、大学生ボランティア等を招いている。様々な人達と食事をする事で、楽しい雰囲気とともに食事マナーを覚える良い機会となっている。
⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	○ a・b・c	・ その日の給食の要望や残食の状況は担当職員が保育支援システムを通じて栄養士に連絡している。栄養士はこれらを確認するとともに、毎日、各保育室を巡回し食事の様子を観察し、その後の献立や調理に反映している。
⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○ a・b・c	・ バイキング給食は、予約制で保護者も参加することがある。参加できない保護者のために降園時に試食してもらい、レシピを届けるなどして家庭でも作ってもらえるような配慮をしている。また、毎月、献立表と食育だよりを保護者に配布している。
⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○ a・b・c	・ アレルギー疾患を持つ園児の保護者からは、必ず医師の診断書を提出してもらい、それに基づき除去食の調理や服薬管理を行っている。診断書は1年ごとに提出してもらい経過を確認している。

A-1-(3) 保育環境

	第三者評価結果	コメント
① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○ a・b・c	・ 昨年度、耐震補強を兼ねて園舎の増改築を行った。保育室内は白とうすいピンクの壁で、子どもの製作物で装飾してある。
② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	○ a・b・c	・ 主任保育士と臨時保育士をクラス担任を持たない形で配置し、集団に馴染みにくい子どもや体調の優れない子どもに対応している。 ・ 空気清浄機の設置や細やかな窓の開閉による換気、二重カーテンによる採光調節などの配慮が見られる。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	○ a・b・c	・ 子どもの個人経過記録や保育日誌などの記録は、保育支援システムを通じて全職員が確認することが出来る。職員は、それらの情報をふまえ、子ども一人ひとりを受容しようと努めている。
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○ a・b・c	・ 自分で選んで遊べるように、子どもの発達段階に応じた遊びや玩具を用意している。特に、子どもが遊びこむことができる地域玩具が充実している。また、保育士が、子どもが自発的に遊べるよう何をして遊びたいか考えさせるような働きかけを行っている。
③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	○ a・b・c	・ 衣類の着脱、排泄、午睡は、決まった時間に行っている。園児の自発的な気持と達成感を第一に考え、無理強いせず柔軟に対応している。
④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	○ a・b・c	・ 路線バスや電車を利用して図書館や21世紀美術館などの社会見学を行っている。地域への積極的な参加を通じて社会的ルールを身に付ける機会を設けている。
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	○ a・b・c	・ 金沢美術工芸大学生ボランティアの協力を得て、アート教室や木工芸教室等様々な表現活動を行っている。製作物は、保育室だけでなく廊下や階段の踊り場などに展示してある。、年1回(3日間)、末広ミュージアムと称した子どもの製作物の展示会を行っている。
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	○ a・b・c	・ 当番活動の内容決めや、ごっこ遊び、異年齢児との遊びの中で、自分の考えを伝えたり相手の考えを聞く機会を設け、子ども同士が人間関係を作れるよう働きかけている。
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	○ a・b・c	・ 大人の固定観念を押し付けないよう子どもの感じた印象や気持ちを聞くことを大切にしている。子どもたちがお互いの良い所に気づくような働きかけをしている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服の色やごっこ遊びの役割分担などについて、性差による区別はしていない。子どもの好みや自由な発想を尊重している。 ・ 離乳食を進める際は、保護者から毎月1回調査票を提出してもらっている。また、家庭での喫食状況や園での喫食状況を連絡帳でお互いに確認している。
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での授乳状況や睡眠のリズム、コミュニケーションのとり方などを保護者から確認し、乳児保育を行っている。人見知りが強い乳児には専任の保育士を配置している。
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児室の床はクッション性の塩化ビニール素材でできている。また、クッション性のマットも敷いてあり、安全性に配慮している。 ・ 衣類の着脱、排泄、午睡は、生活リズムを整え発達を促すため、原則として決まった時間に行っているが、子どもの達成感を考慮し、状況に応じて柔軟に対応している。
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、障害児はいない。保護者から相談があった場合は、教育プラザ富樫のこども総合相談センターに相談し、必要に応じ保護者との話し合いの機会を設けている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-2 子育て支援

A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果	コメント
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え個別面談などを行っている。	○ a · b · c	・ 保護者とは、登降園時の会話や連絡帳などを通じて、日頃から情報交換をしている。大型スクリーンを玄関に設置し、3歳以上児の毎日の活動内容を保護者に知らせている。
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	○ a · b · c	・ 日々の登降園時に保護者から受けた必要な情報は、職員がそれぞれ記録し、保育支援システムを通じて全職員が確認している。 ・ 保護者の希望を確認した上で、11月に個別面談を行っている。親子クッキングや木工教室などのクラス行事後に、クラス懇談会を行い、日々の保育内容について保護者と共通理解する機会を設けている。
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○ a · b · c	・ 地域の身近な施設として、在園の如何を問わず、子育て家庭からの相談には随時対応している。その記録を、保育支援システムを通じて園長、主任保育士が確認している。
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	○ a · b · c	・ 児童虐待対応マニュアルがある。虐待が疑われる子どもがいた場合、その情報は主任保育士、園長に速やかに報告される体制ができている。
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	○ a · b · c	・ 事務室には、教育プラザ富樫や警察など関係機関の連絡先が掲示してある。園長や主任保育士が不在の場合の指示命令システムも定めてあり、迅速に対応できる体制が整っている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-2-(2) 一時保育

	第三者評価結果	コメント
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> 一時預かりを実施している。一時預かりのための保育室があり、副主任保育士が担当している。副主任保育士がいない場合は、当該受け入れ児の年齢に応じて、クラス担任が対応している。 一時保育受入れシステムにより、在園児と同様に、保育時の情報を記録し、保護者にも伝えている。

A-2-(3) 地域における子育て支援

	第三者評価結果	コメント
① 地域の保護者等に対する子育て支援を行っている。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流室兼活動室があり、未就園児のふれあい教室(月4回)やベビーマッサージ教室(月1回)など子育て家庭の育児相談などを行っている。 この活動内容を、ホームページに掲載したり、チラシを配布するなどして、積極的に地域住民に周知している。

A-3 安全・事故防止

A-3-(1) 安全・事故防止

	第三者評価結果	コメント
① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	Ⓐ b・c	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアル、衛生管理マニュアルを整備し、毎月定期的に危険箇所の点検や災害、事故を想定した避難訓練を行っている。避難訓練の際に、非常災害時用持ち出し袋の中身を点検している。 輪番制で月毎の当番が決められ、全職員への周知徹底が図られている。 年度当初の職員会議で、マニュアルの確認を兼ねた見直しを行っている。 ヒヤリハットの事例は保育支援システムに蓄積され、事例検討や事前防止策の効果の検証を行う際に活用している。
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知されている。	Ⓐ b・c	
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ b・c	
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ b・c	